

泉生活館

(若園・新栄・泉・岩清水地区)

『公共料金のスマホ決済について』
要望 スマートフォンでの公共料金の支払いを「d払い」で支払いできるようにしてほしい。

回答 町が委託している収納代行業者の北海道銀行がスマホアプリ事業者と契約を結ぶ必要があり、現在は「LINE Pay」と「PayPay」の2社となっているため、現状では「d払い」はできない。

また、支払した際に付くポイントについては、スマホ決済事業者のサービスになるため、当事業者のホームページなどで確認をお願いしたい。

※令和5年4月1日から新たに「d払い」「auPAY」などの公共料金の支払いが利用可能となり、詳細は3月24日の町政事務委託文書で周知する予定。

朝日農村環境改善センター

(高江・朝日地区)

『粗大ごみの予約について』

要望 現在、電話で粗大ごみの予約を行っているが、インター

ネルギーや物価の高騰は町民の日常生活から教育、福祉、医療、経済活動に至るまで、非常に大きな影響を及ぼしており、この一つ一つが町が応えることは難しいのが実態である。

現在、エゾシカ1頭当たりの捕獲委託料は国が定めた9千円であり、財源は国からの補助金となっている。これを日高管内各町、日高管内猟友会各支部、日高振興局で組織する「日高鳥獣被害防止対策広域協議会」で協議し、管内共通の単価として決定する仕組みとなっているので、当協議会の場で価格高騰の状況を訴え、単価見直しの要望をしていきたい。

『高齢者宅の除雪について』

質問 地域では、家の前の除雪ができない高齢者(独居老人)がいる。今後、さらに高齢化により家の前の除雪ができない方が増えることが予想される。

これを踏まえ自治会では「除雪を行える人」、「除雪を依頼する人(高齢者等)」を事前登録し、金額を定めるなどの対応を検討しているが、町として他に良い案があれば伺いたい。

ネットで予約ができるようになれば、いつでも申し込みができて便利なので検討してほしい。

回答 現在、粗大ごみの予約は内容物を聞き取り、排出可能かどうか確認してから受け付けしている。このように確認作業をしなければ、当日、業者が引き取りをお断りする場合もあり、トラブルの原因にもつながる。

ネット予約では、このように確認作業を行うことができないが、内容物の写真添付を義務付け、ネット予約をしている自治体もあるので、利便性の向上につながるかどうか考慮し、今後検討していく。

『朝日開拓婦人ホームの老朽化について』

要望 町で朝日開拓婦人ホームの各種修繕を行っていたが、全体的に老朽化が著しいため、今後、閉校となる朝日小学校の空室など、自治会に貸与してほしい。

回答 小学校統合後の朝日小学校の利活用については、今後、集中的に協議を行っていく。その中で地域の方々などから意見や要望を集約し、できること、できないことを取捨選択すること

回答 地域の課題を掘り起こし地域と共に解決策の立案や、同じような課題を持つ地域同士の橋渡し役の機能や、地域では解決できない課題を行政に提案するといった業務を行う生活支援コーディネーターを町では1名配置している。

当コーディネーターを町社会福祉協議会に配置しており、また、当協議会でも地域課題解決のための補助財源を持つっており、それらを活用し、除雪支援や買い物支援などを行ってきたという先行事例もある。

当コーディネーターとその補助財源を活用し、支援を行う側、受ける側それぞれの登録や費用の充当、対価の考え方を整理し、支援をさせていただき、自治会での運用に結び付けていくといったこと進めていきたい。

節婦生活館(節婦地区)

『JＲ日高線の踏切について』

要望 先般、踏切の撤去工事を行っていたのだが、S字のよな形となっており、通りにくいため、スムーズに通れるようできないか。

となるが、まずはいただいた意見を1つの意見として受け止め、今後の協議の中で検討していく。



老朽化が著しい朝日開拓婦人ホーム

緑丘生活センター

(緑丘・古岸地区)

『ヒグマ対策について』

要望 ヒグマの被害がひどいので対策をお願いしたい。

回答 箱罟を設置しても捕獲までには時間を要し、罟に掛からないことが多いのが実態である。食害被害を減少させる方策としては、電牧の設置が有効と言われているので、農業者の方々には町農業協同組合が窓口と

回答 この踏切撤去工事は、あくまでも既存の踏切施設を撤去することが目的であり、JRからの踏切撤去に伴う補償金を財源に実施している。

町としては、要望の踏切箇所も含めて、今後、道路改良について検討していく。



改良要望のあった節婦地区の道路

泊津生活館

(西泊津・東泊津地区)

『鹿対策について』

要望 以前は鹿の頭数がそれほど多くはなく馬に影響がなかったが、先日、20頭程度放牧地に鹿が入り馬が驚き牧柵にぶつかつた。また、同じことが起きないように対策をお願いしたい。

なっている電牧の補助制度を活用される自己防衛の検討をお願いしたい。

太陽開拓婦人ホーム

(美宇・太陽・新和・里平地区)

『鳥獣被害対策について』

要望 農業者人口が多い当地域は、鳥獣被害は喫緊の課題であり、ハンターの存在は欠かせないものとなっている。

近年、新型コロナウイルスによる海外からの物流の停滞や物価高によりハンターが負担しなければいけない弾の価格はコロナ禍前の2倍以上となっていることに加え、原油価格の高騰も相まって今までのように有害鳥獣のパトロールに出ることができないと聞いている。

ハンターに支払われる鹿などの有害鳥獣駆除費を現状の物価水準に合わせ、増額することはできないか。

回答 このような状況を鑑みると、猟銃に使用する弾の価格や燃料価格の高騰により、以前までのような見回りができていないハンターがいるというのも理解するが、現在のコロナ禍で工

回答 軽種馬地帯では、銃を使つての捕獲は難しいところがあるが、鹿の捕獲には「くくり罟」という罟があるので、それを有効に使い捕獲できればと考えている。産業課に連絡していただければ猟友会のハンターに行ってもらうなど、対応するので相談してほしい。

新冠町女性コミュニティ会議

『道の駅のトイレ増設について』

質問 新冠IC開通に伴い、観光客が増え、道の駅の利用者も増えると思うが、トイレを増やす予定はあるのか。

回答 新冠IC開通後、観光客など、どのような流れになるかわからないため、状況を見ながら検討していきたいと考えているが、道の駅の近くには、レ・コールド館があり、そのトイレの活用も検討している。そうすることによりつながりができ、レ・コールド館の来館者も増えると思う。それでもトイレが不足するようであれば、トイレの増設や既存のトイレの改修も含め、検討していく。